

# 笑顔いっぱい 輝け加西の子どもたち

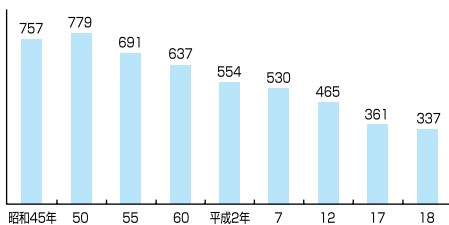


急速に進行する少子化について社会全体で考えるという観点から、加西市では、平成17年3月に「かさい 子ども・子育て応援プラン」を策定し、少子化対策の施策を進めています。平成17年度の国勢調査結果が公表されたのに伴い、最近の統計資料から加西市の子どもを取巻く現状を検証してみました。

今月号では、安心して子どもを産み育てられるまち、子どもの歓声と笑顔があふれる活気に満ちたまちづくりのために、今後取り組んでいく少子化対策についてお知らせします。

## 現状分析

図1 加西市 出生数の推移 (単位:人)

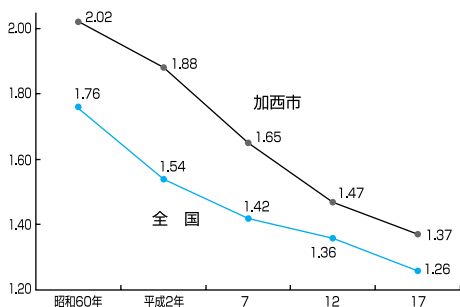


### ● 出生数と合計特殊出生率が低下しています

加西市の出生数は40年前に比べ出生数は44%減少し、合計特殊出生率は、平成17年で1.37(外国人を含めると1.18)まで落ちていきます。(図1・2)

※合計特殊出生率…人口統計上の指標で、一人の女性が一生に生む子どもの数を示す。

図2 合計特殊出生率の推移



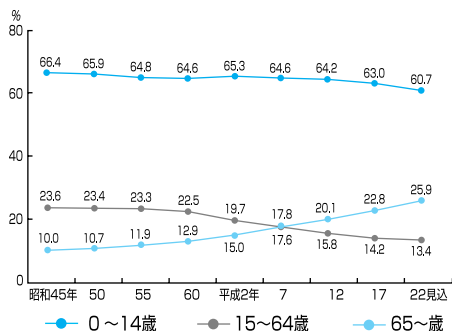
### ● 高齢化が進んでいます

平成7年に高齢者人口(65歳以上)が年少(0~14歳)人口を上回り、その後少子高齢化が進行しています。(図3)

### ● 初婚年齢と未婚率が上昇

全国的に平均初婚年齢が上昇しています。加西市の25歳以上40歳未満の未婚率も増加傾向にあります。(図4)

図3 加西市における年齢別人口比率の推移



### ● 市外への転出が増える

加西市においては青年層の転出が多く、子育て世代の転入が少ないことが少子化の大きな要因として考えられます。進学就職時期にあたる15~24歳で転出が転入を大幅に超過しています。35~39歳で、若干の転入が増えるものの、居住移動が大きい若年・子育てファミリー層において加西市では転出が圧倒的に転入を上回っています。(図5・6)

図4 加西市の年齢階層別(25~39歳)別未婚率の推移

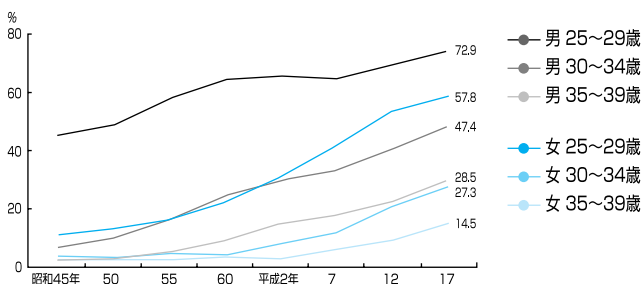


図5 加西市における年齢(5歳階級)の現住所の割合(5年前に現住所に住んでいた人の割合)

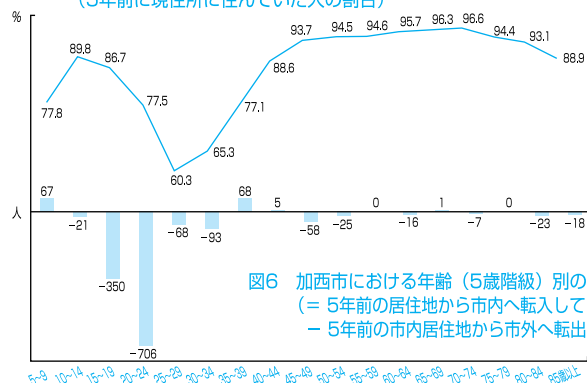


図6 加西市における年齢(5歳階級)別の転入超過人口(=5年前の居住地から市内へ転入してきた者の人数 - 5年前の市内居住地から市外へ転出して者の人数)